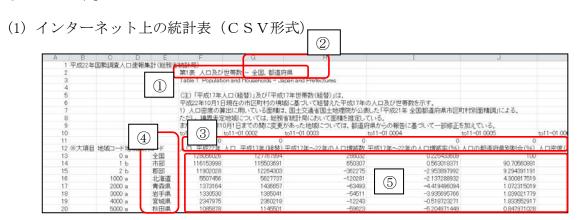
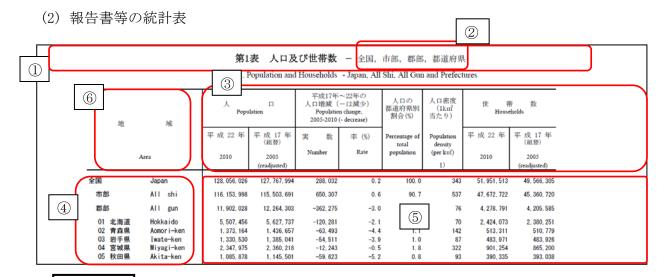
Ⅲ 統計表のみかた

1 統計表の構成

統計表の構成には、その内容により様々なものがありますが、一般的に以下のような構成に なっています。





解 説

- ① 表題…どの事項について集計したのかを示します。
- ② 表章地域…どの地域を表章しているかを示します。
- ③ 表頭(ひょうとう)…表題のうち、統計表の上部の見出しの部分です。
- ④ 表側(ひょうそく)…表題のうち、統計表の左側の見出しの部分です。
- ⑤ 表体(ひょうたい)・こま(セル)…表頭・表側に対応する数値が入る部分です。個々の数値が記載される部分を「こま」あるいは「セル」といいます。
- ⑥ 表側頭(ひょうそくとう)…表側の事項が何であるかを表す部分です。

≪注意点≫

ア 表章地域において「全国※」,「都道府県※」のように「※」の表示がある場合,当 該地域における人口集中地区についても表章してあることを示します。

利用する際は、その表が全域を表章しているのか、人口集中地区を表章しているのか、注意が必要です。

イ 表体・こまの「-」は該当数値がないもの,「0.0」は単位未満の数値であるものを 示します。

2 統計表の読み取りかた

ポイント

統計表を読み取るには、表頭と表側に、それぞれどのような項目が示されているかを確認した上で見ていきます。

例1) 北海道市部の一般世帯数を知りたい場合

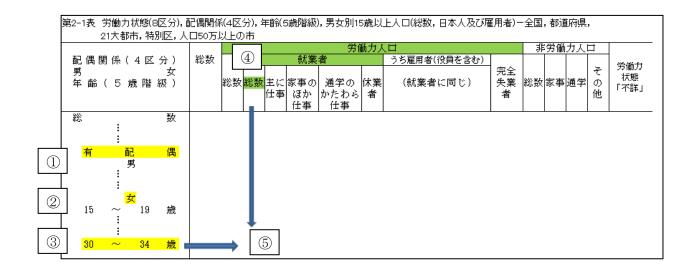
	人口 総数	人口 男	人口 女	世帯数 総数 🛚	世帯数 一般世帯 世	帯数 施設等の世帯
全国	128057352	62327737	65729615	51950504	51{ 2307	108197
全国 市部	116156631	56569051	59587580	47670906	475 4615 L	② 96291
全国 郡部	11900721	5758686	6142035	4279598	44 14692	11906
北海道	5506419	2603345	2903074	2424317	24/8305	6012
北海道 市部 [→ 1985185	3 4051
北海道 郡部	1057059	507042	550017	435081	433120	1961
札幌市	1913545	896850	1016695	885848	884750	1098
札幌 ① 央区	220189	99791	120398	120741	120596	145
札幌市北区	278781	132481	146300	127440	127291	149
札幌市 東区	255873	122154	133719	118939	118804	135

- ① 表側の「北海道市部」から右に見ていきます。
- ② 表頭の「世帯数 一般世帯」から下に見ていきます。
- ③ 表頭と表側が交差する「1985185」が、北海道市部の一般世帯数になります。

例2) 配偶者がいる女性のうち、30~34歳の就業者数を知りたい場合 (表頭や表側に、複数の項目が含まれている例)

メモ

表頭や表側に複数の項目が含まれている場合,表頭の場合は複数段のうち最上段から下へ 向かって順番に,表側の場合は表側頭に表章してある項目の順番に見ていきます。



- ① 表側から配偶関係「有配偶」を探します。
- ② その中に含まれる男女のうち、「女」を探します。
- ③ さらにその中に含まれる「30~34歳」から右に見ていきます。
- ④ 表頭の「労働力人口」に含まれる「就業者」の「総数」から下に見ていきます。
- ⑤ 表頭と表側が交差する値が、結婚している女性のうち、30~34歳の就業者総数になります。

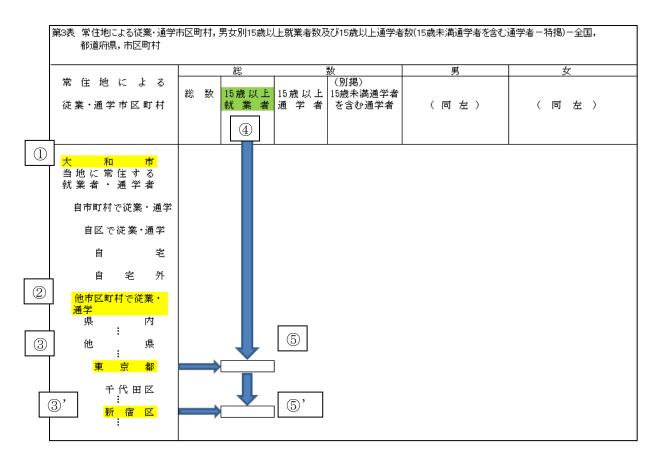
≪注意点≫

	1		労働力人口						非労働力人口				
1	総数		就業者			うち雇用者(役員を含む)						****/**	
		② 総数	主に 仕事	ほか	かたわら	休業 者	(就業者に同じ)	完全 失業 者	総数	家事	通学	その他	労働力 状態 「不詳」
- (<u>'</u>	仕事	仕事								

例2の統計表の表頭には、「総数」が①~③まで連続して表章項目として記載されています。 これらの違いは、以下のとおりです。

- ① この欄が最上段であることから、この統計表の表章対象である15歳以上人口の「総数」です。
- ② この欄の上の欄にある「労働力人口」の「総数」です。
- ③ この欄の上の欄にある「就業者」の「総数」です。

例3) 神奈川県大和市在住者のうち東京都及び新宿区で働く就業者数を知りたい場合 (表側の表章事項が1種類であるが、何段階かの階層になっている例)



- ① 表側から、常住地である「大和市」を表章している部分を探します。
- ② 従業・通学市区町村が、「自市町村で従業・通学」と「他市区町村で従業・通学」に分かれています。ここでは、大和市以外に従業・通学している人が含まれる「他市区町村で従業・通学」を探します。
- ③ 「他市区町村で従業・通学」は、「県内」と「他県」に分かれているので、「他県」を確認し、中にある「東京都」及び「新宿区」から右に見ていきます。
- ④ 表頭の「総数」のうち、「15歳以上就業者」から下に見ていきます。
- ⑤ 表頭と表側が交差する値が、大和市在住者のうち、東京都又は新宿区で働く就業者数です。

3 不詳の取扱いについて

集計結果には、調査票に未記入や誤記入がある場合や、調査票に記入された内容の分類が不可能である場合、「不詳」として取り扱うものが存在します。平成27年国勢調査では、不詳数を原則として分類事項の最後に表章しています。

(注) 内訳の一部のみを表章している場合は、不詳を表章していない場合があります。

また,年齢別割合,労働力率などの割合・比率を算出する際は,分母となる総数から不詳数 を除いて算出しています。

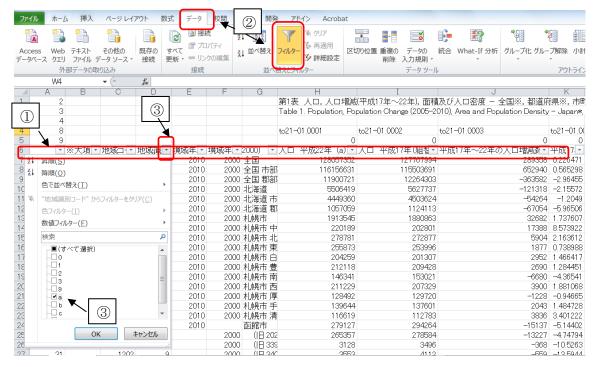
4 地域識別コード等の利用

インターネットに掲載した平成27年国勢調査結果の統計表の一部については、都道府県・市区町村名と地域コード(市区町村を5桁の番号で表したもの)のほかに、表側の都道府県及び市区町村に「地域識別コード」を付与しています。このコードを用いて、市区町村等の抜き出しや並び替えを行うことにより、利用目的に応じた地域ごとの比較・分析を行うことができます。

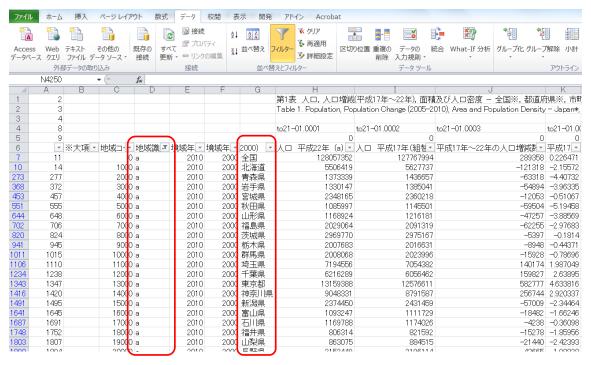
地域識別コードの種類とそのコードが示す地域は、以下のとおりです。

コード	地域	コード	地域
a	全国·都道府県	0	東京都23区及び政令指定都市の区
b	市部•郡部	1	東京都特別区部及び政令指定都市
С	支庁・振興局・郡	2	政令指定都市以外の市
d	人口集中地区	3	町村
		9	平成12年(2000年)現在の市区町村

例1) 都道府県計, 市部計等が含まれている統計表から, 都道府県計のみを抜き出す



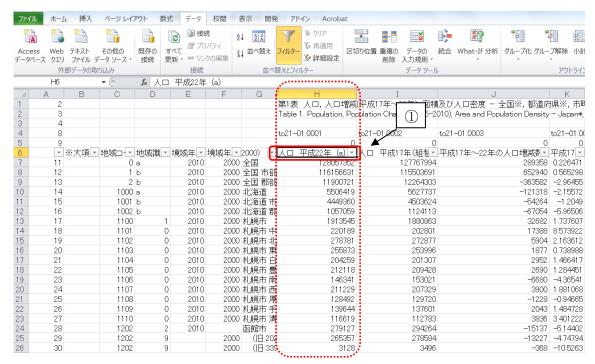
- ① 表頭の行を選択します。
- ② 「データ」タブ内の「フィルタ」をクリックします。
- ③ 「地域識別コード」右のドロップダウンリストを選択し、「a」のみを選択します。



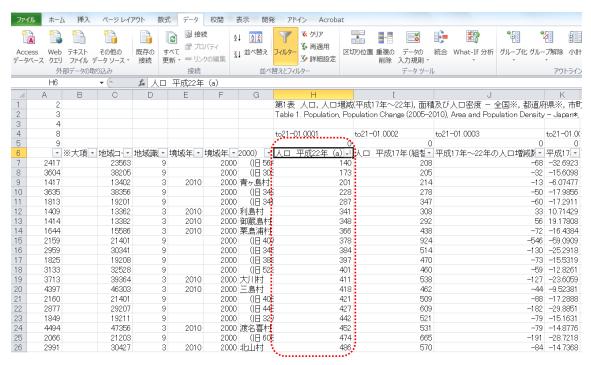
① 市部計等のデータが表示されなくなり、都道府県計だけの数値が表示されます。

地域識別コードのほかにも、この統計表のH列には、各地域の人口が入っています。この数字を並べ替える(ソート)ことにより、統計表の行の順番を変えることも可能です。

例2) 平成22年人口の少ない地域順で表示する



① 並べ替えを行いたい「人口 平成22年」右のドロップダウンリストを選択し、「昇順」 をクリックします。



② 人口の少ない地域順に表示されます。

<参考>

都道府県・市区町村の地域コードの番号については、「統計に用いる標準地域コード」 (URL: http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/9-5.htm) を参照してください。